

平成31年臨床研修指導医アンケート 調査結果概要

平成31年臨床研修指導医アンケート調査結果

<調査概要>

対象者:平成31年3月修了者に対する臨床研修指導医

調査方法:厚生労働省より自記式質問票を送付し、地方厚生局へ提出

調査期間:平成31年3月1日～平成31年3月末

<回収状況>

配布対象者	回収数(参考H30)	回収率
38,526	24,845 (24,247)	64.5%

<回答者の性別>

性別	人数	割合	参考H30
男性	20,457	82.3%	83.5%
女性	3,426	13.8%	13.1%
無回答	962	3.9%	3.4%

<指導を行った病院の所在地>

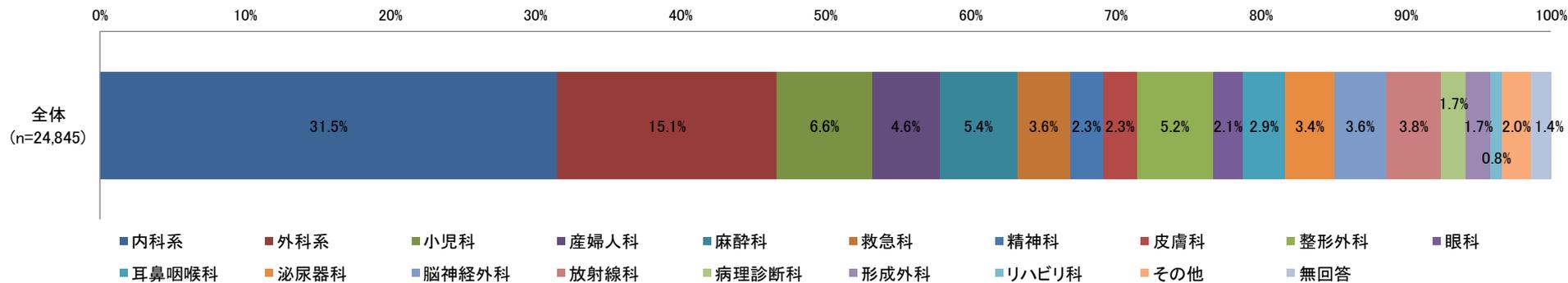
地域	人数	割合	参考H30
北海道	857	3.4%	3.2%
東北	2,130	8.6%	9.0%
関東信越	8,946	36.0%	35.2%
東海北陸	3,806	15.3%	16.3%
近畿	3,788	15.2%	15.1%
中国・四国	2,758	11.1%	10.4%
九州・沖縄	2,560	10.3%	10.6%
無回答	0	0.0%	0.1%

<回答者が受けた臨床研修>

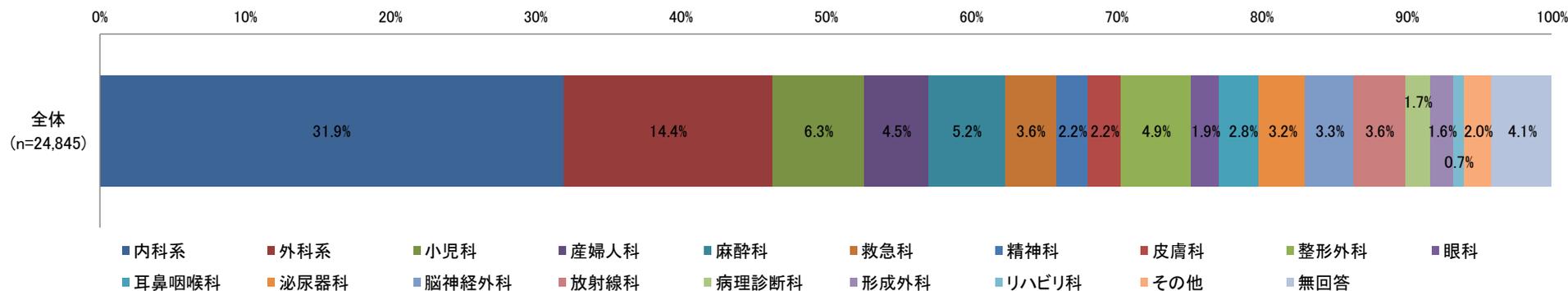
指導医自身が受けた臨床研修の種類	人数	割合	参考H30
平成15年度以前(臨床研修必修化前)の臨床研修	18,671	75.1%	77.7%
平成16年度以降(臨床研修必修化後)の臨床研修	5,475	22.0%	18.7%
その他	483	1.9%	2.2%
無回答	216	0.9%	1.3%

診療科・基礎系分野

【現在従事している診療科・基礎系分野】



【臨床研修で指導医として担当している診療科目】

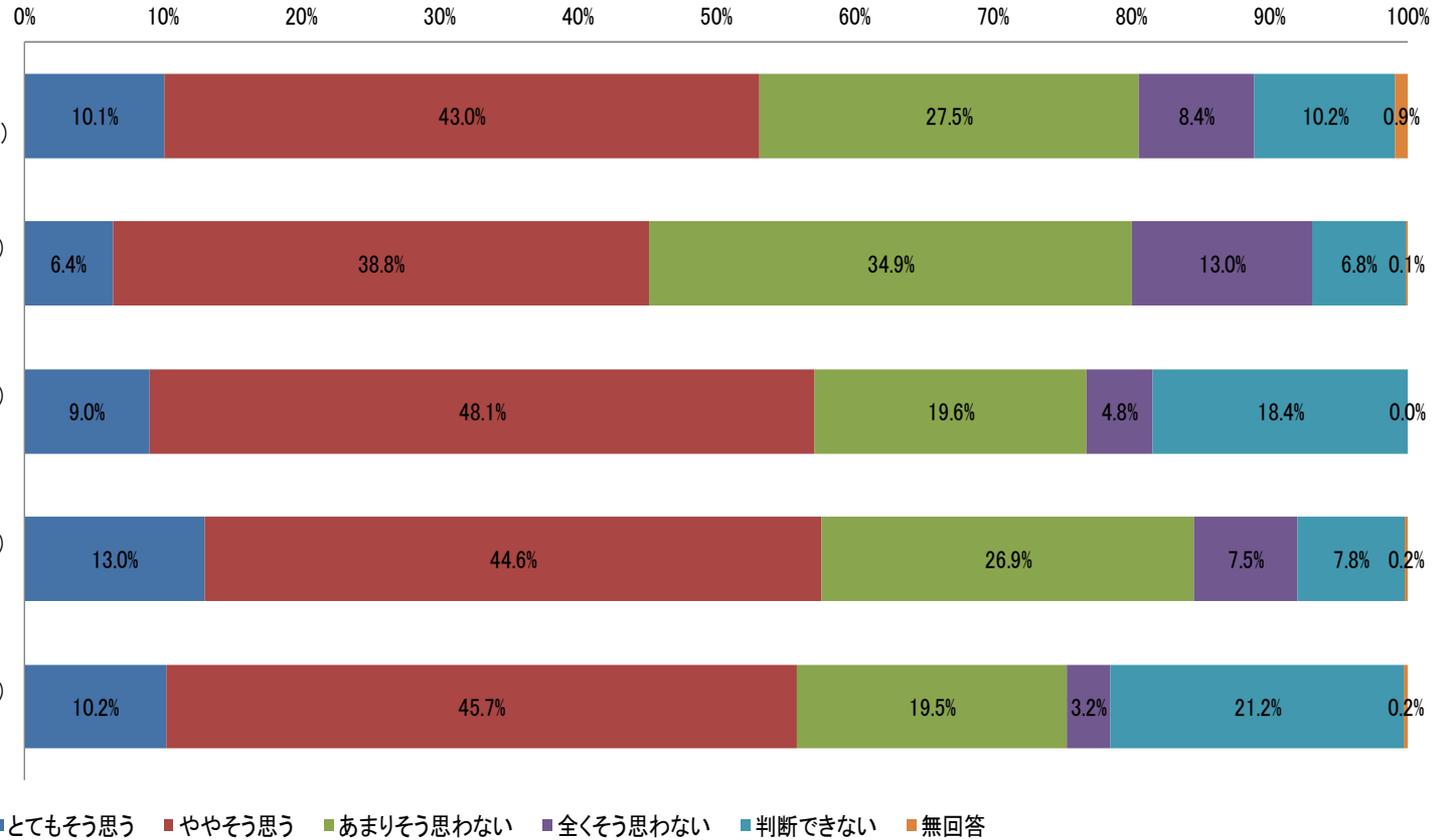


※「内科系」・・・内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科(胃腸内科)、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科(代謝内科)、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

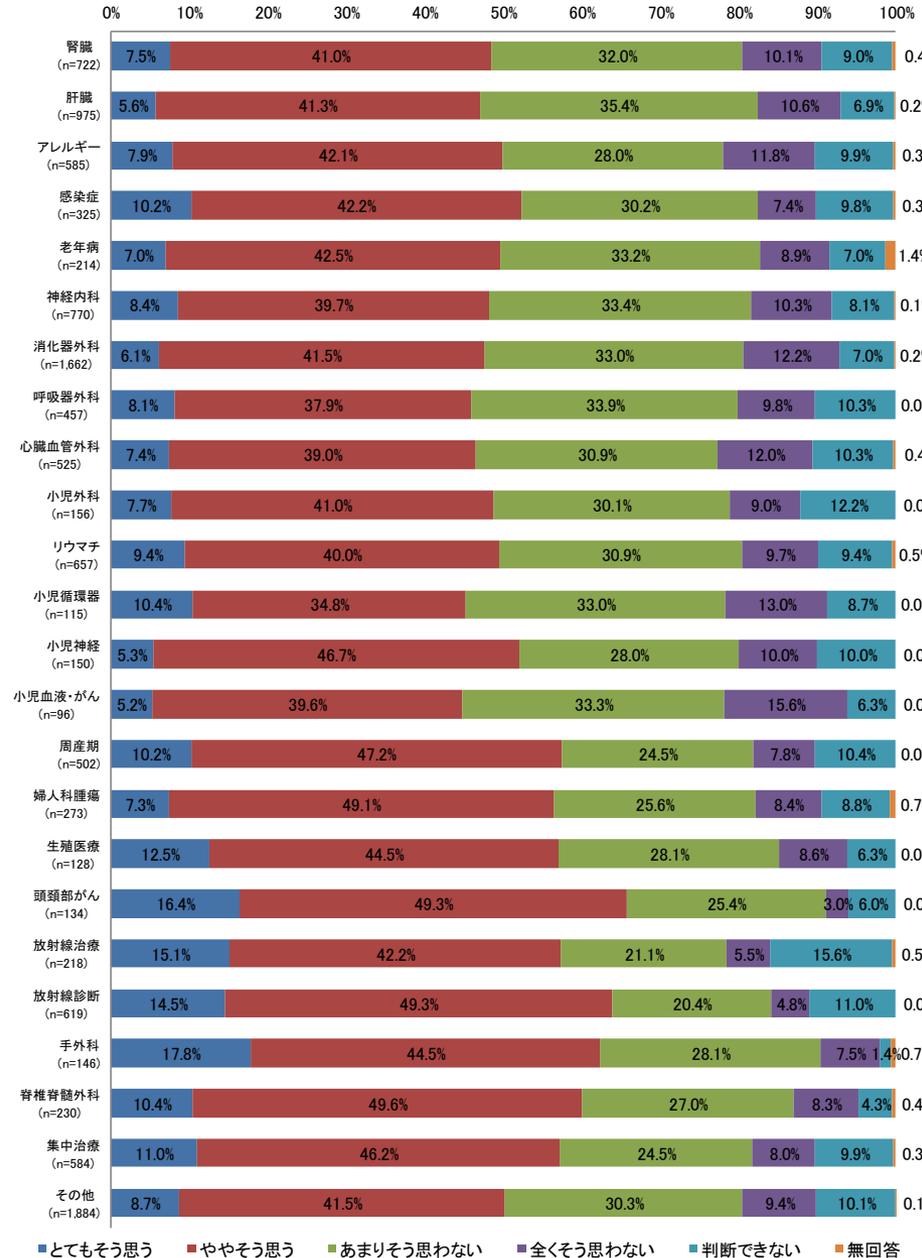
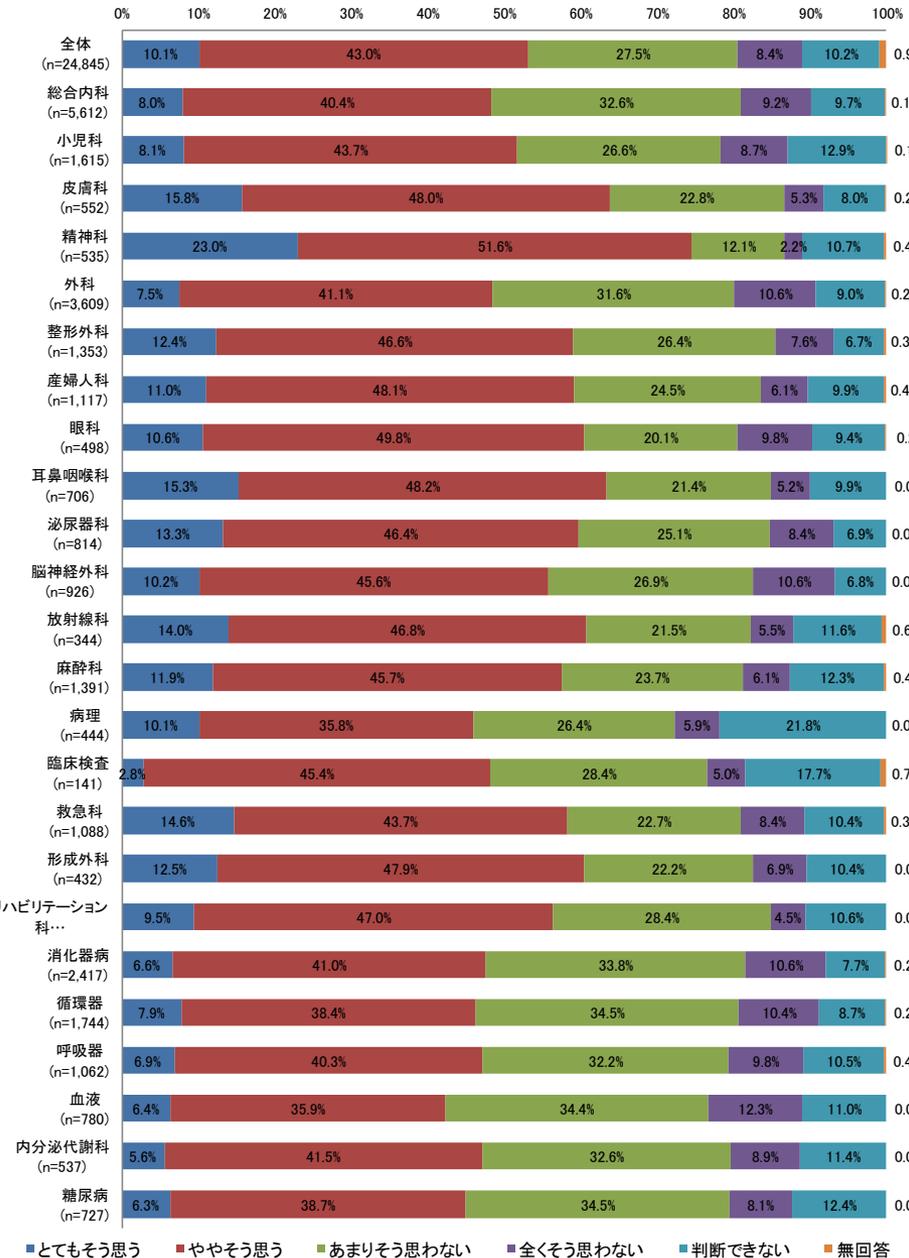
※「外科系」・・・外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科

※「産婦人科」・・・産婦人科、産科、婦人科

医師臨床研修制度導入により総合的な診療能力は高まったか

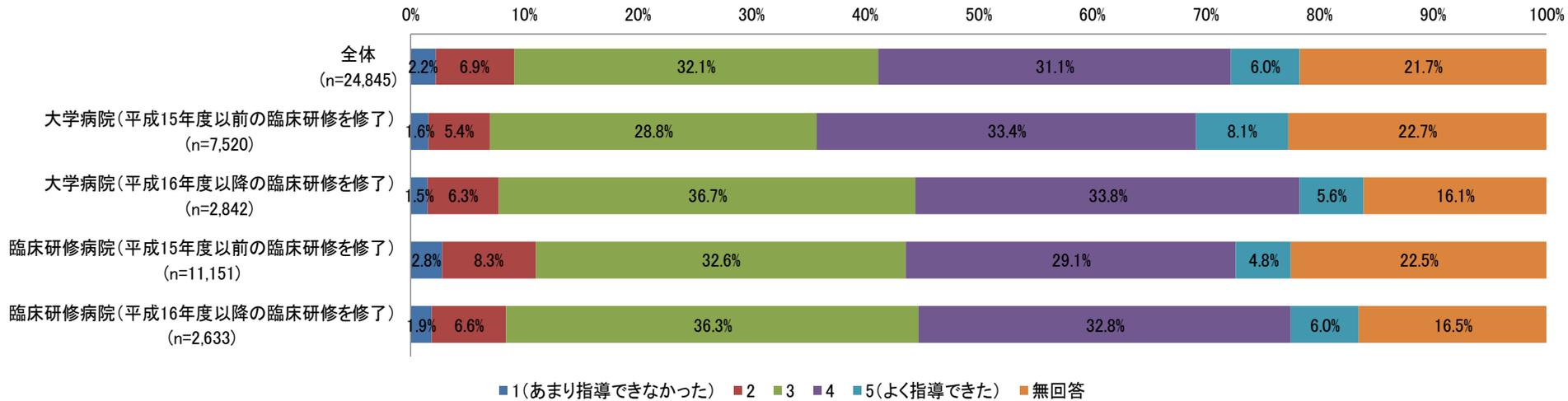


医師臨床研修制度導入により診療能力は高まったか（専門医資格別）

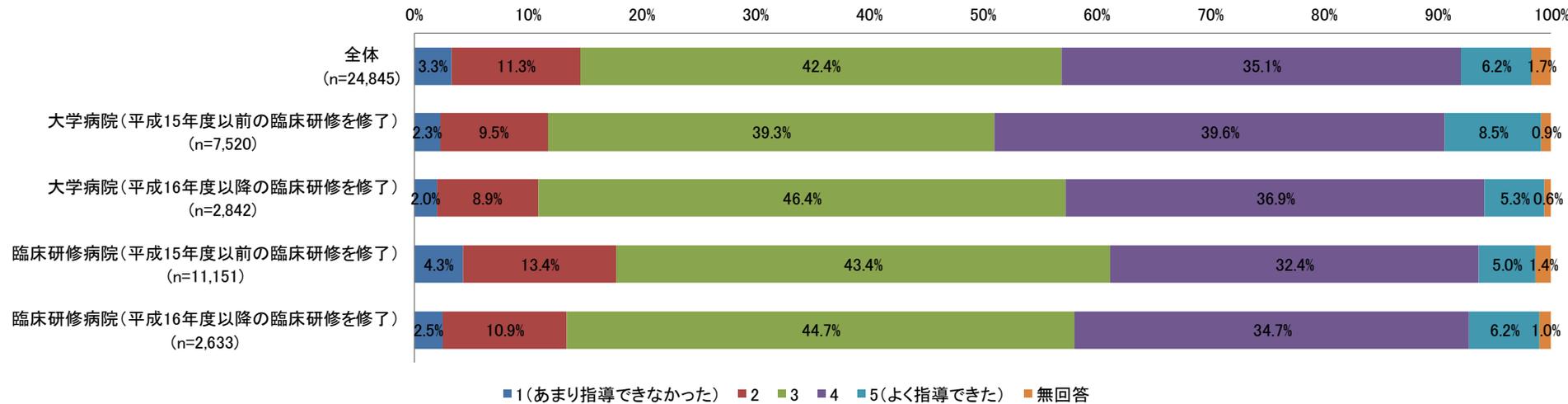


実施した指導

【医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)】

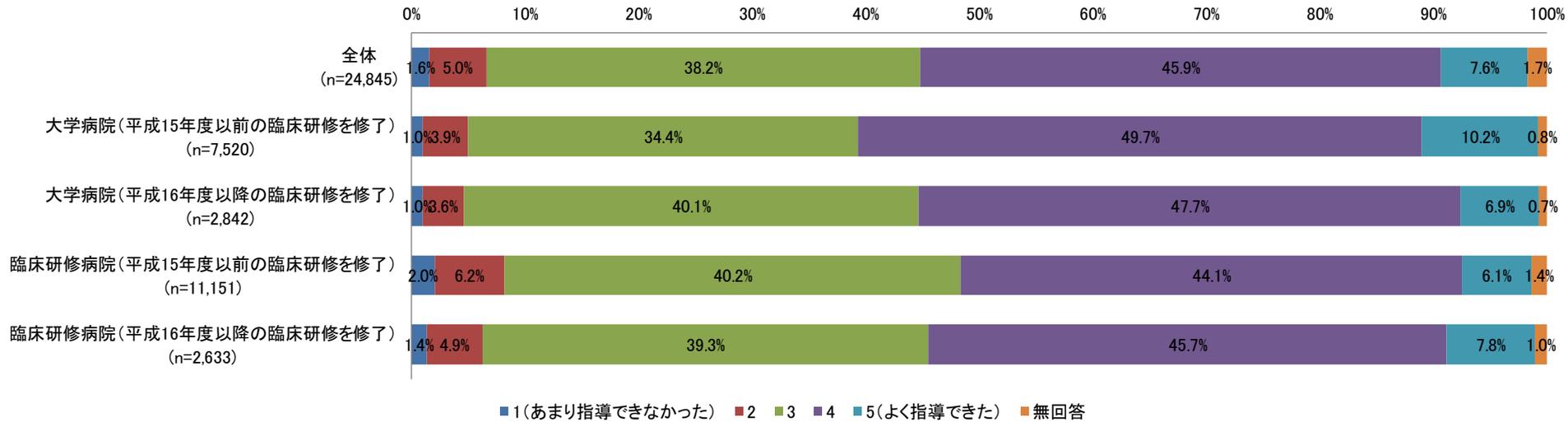


【医学・医療における倫理性】

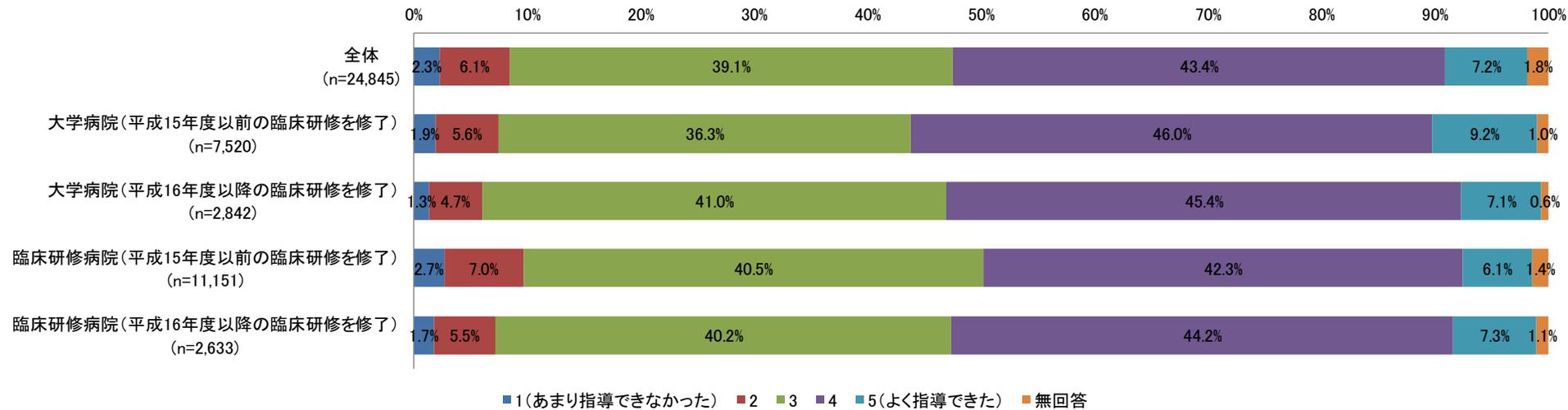


実施した指導

【医学知識と問題対応能力】

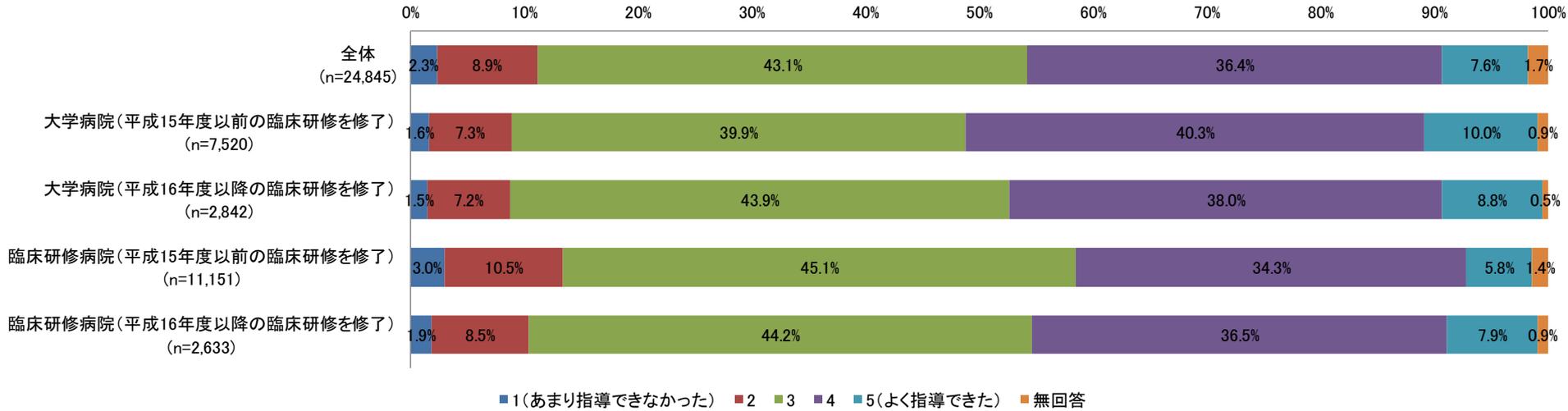


【診療技能と患者ケア】

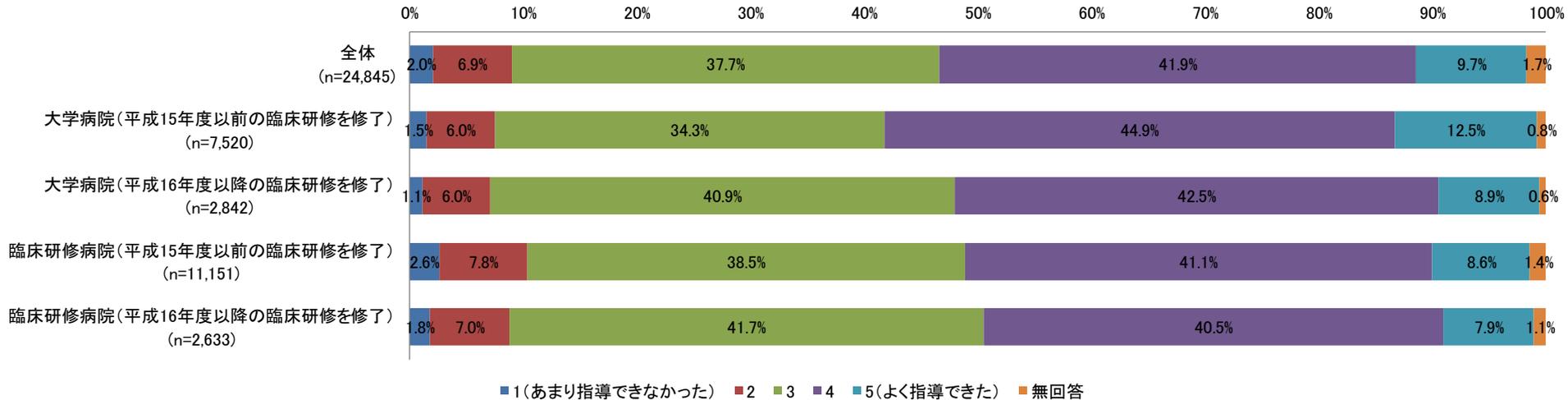


実施した指導

【コミュニケーション能力】

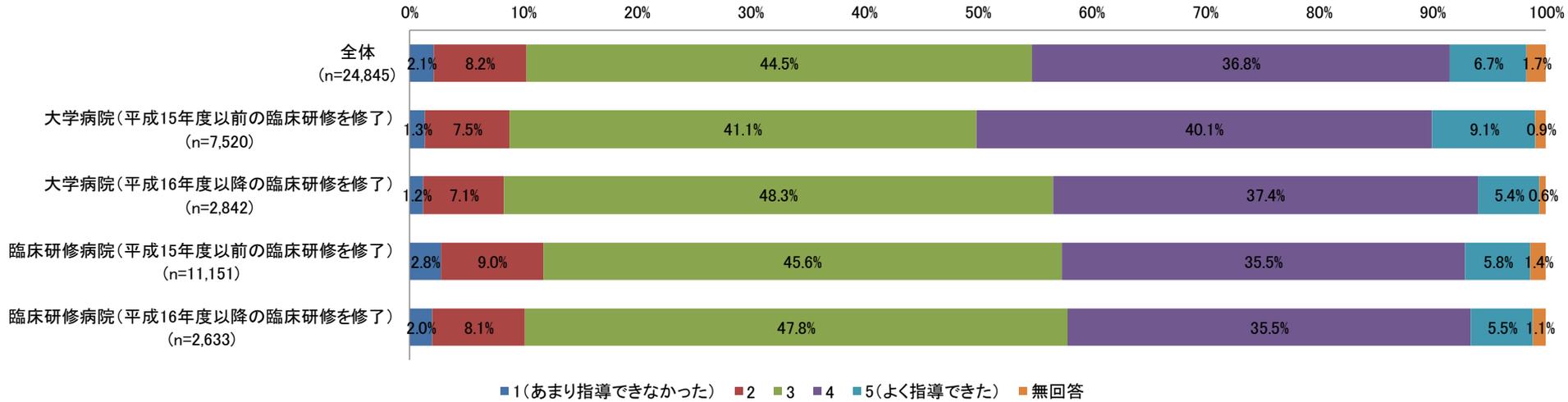


【チーム医療の実践】

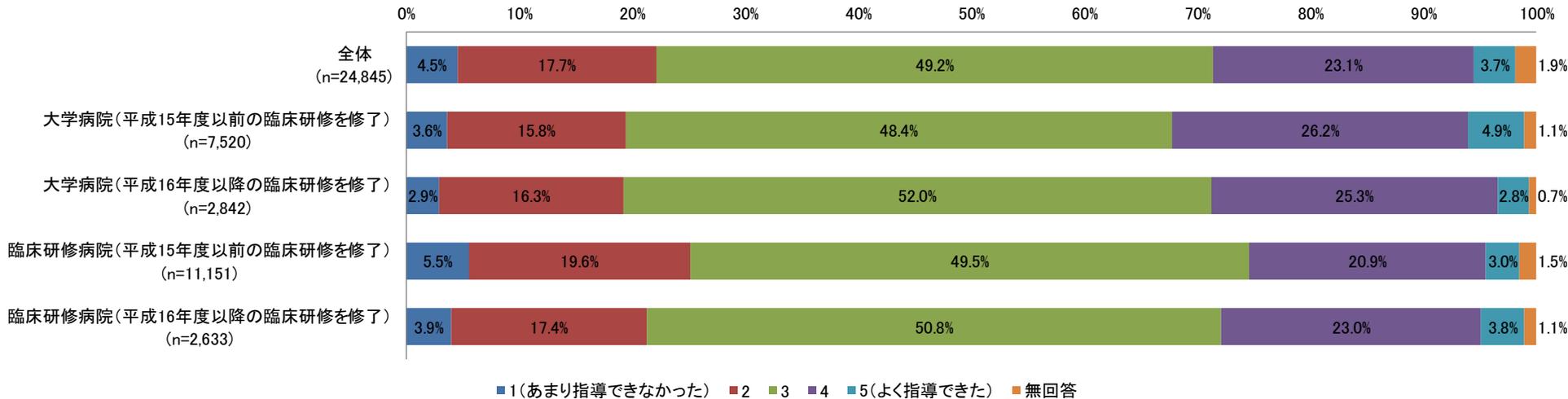


実施した指導

【医療の質と安全の管理】

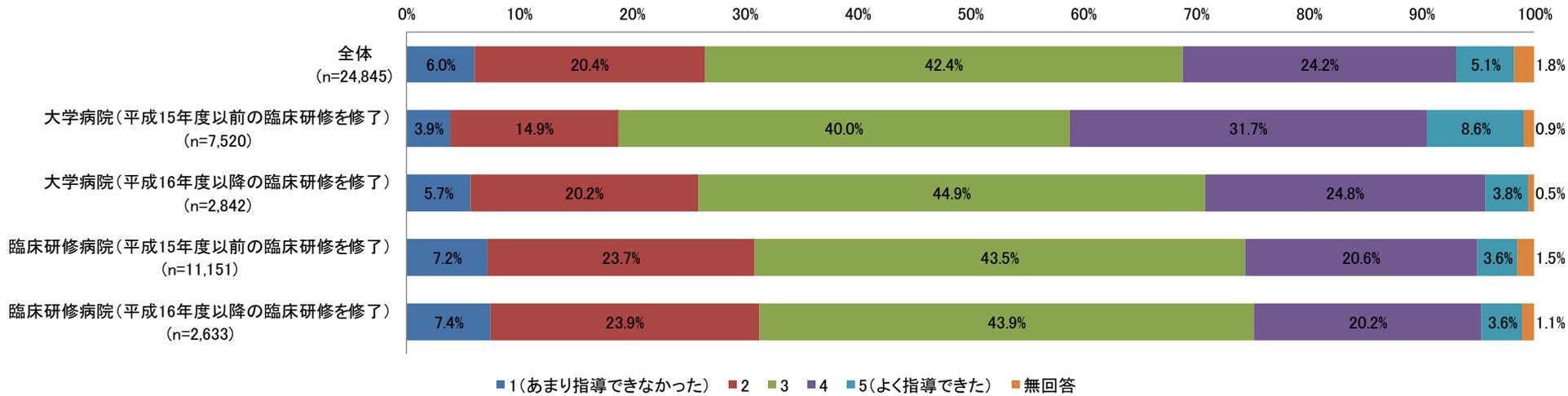


【社会における医療の実践】

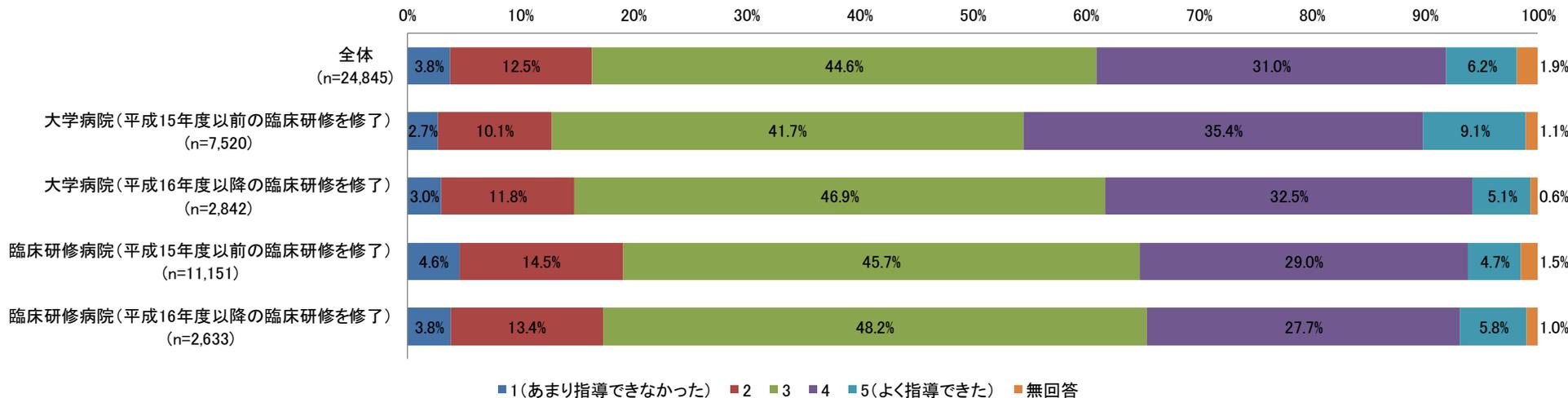


実施した指導

【科学的探究】

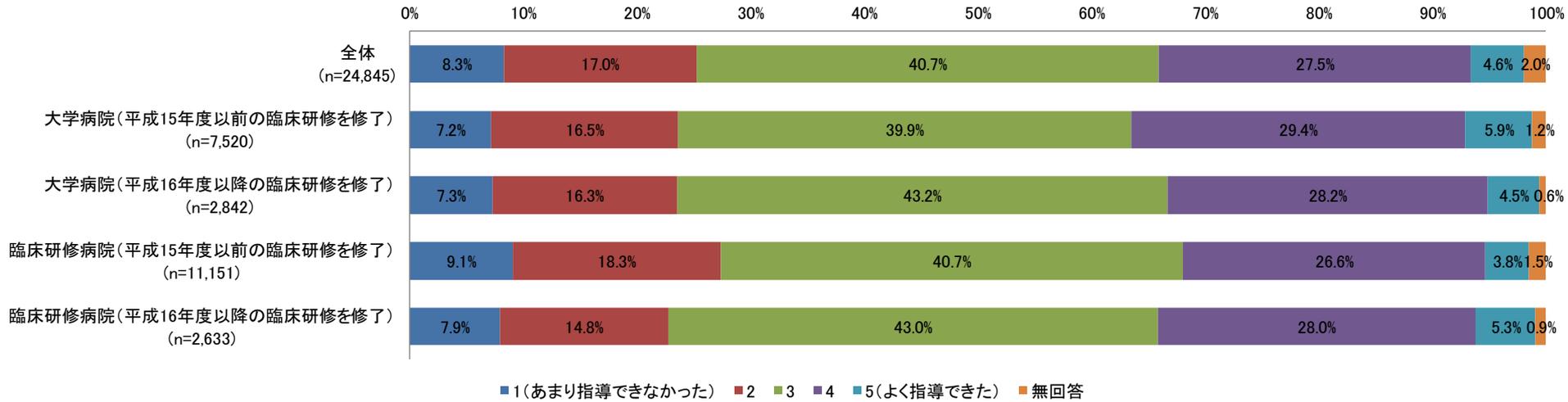


【生涯にわたってともに学ぶ姿勢】

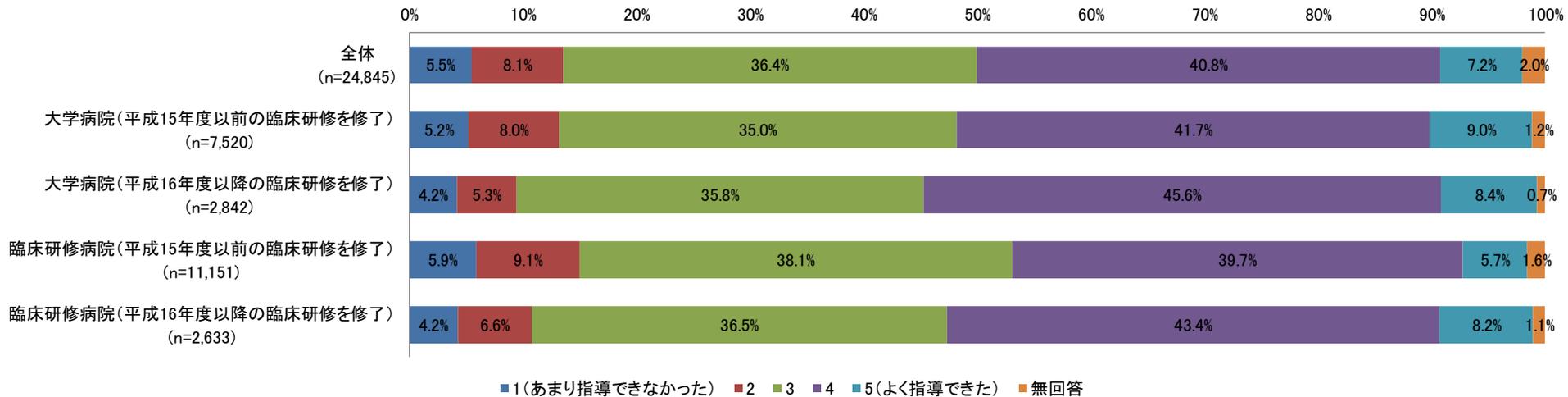


実施した指導

【一般外来における診療能力】

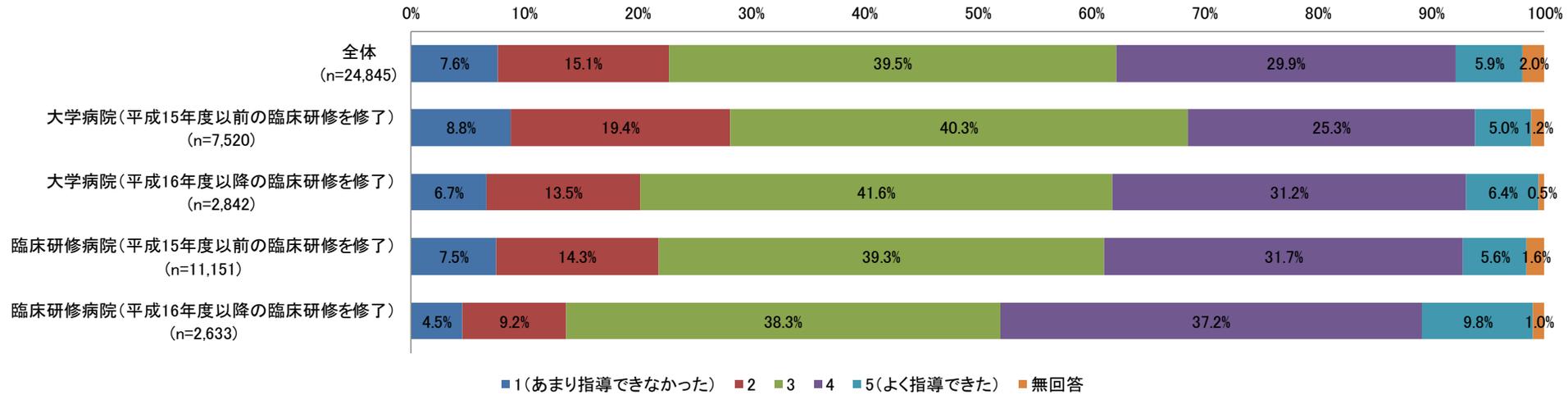


【病棟における診療能力】

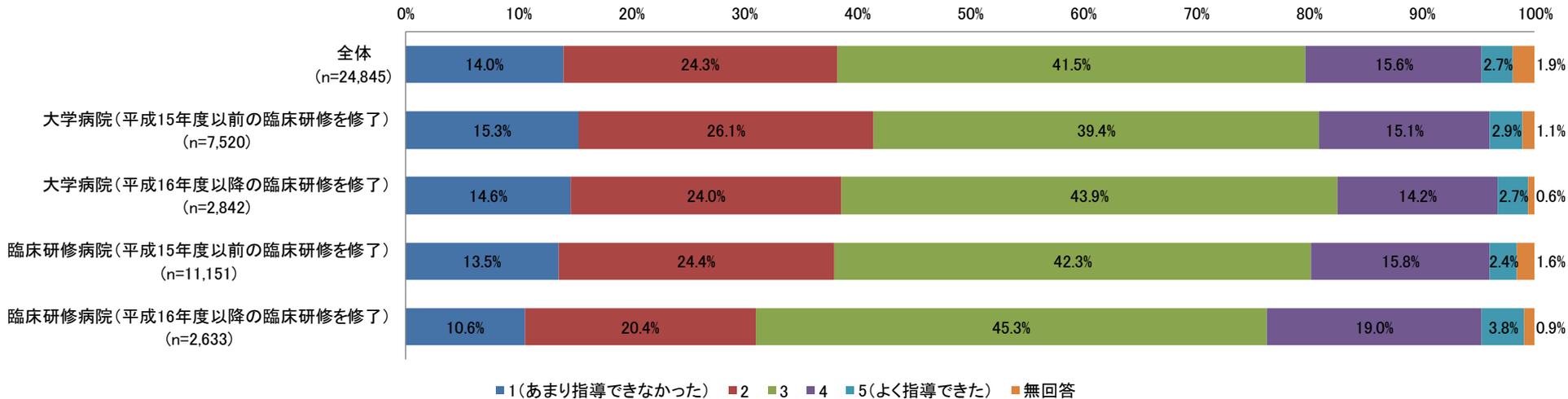


実施した指導

【初期救急における診療能力】

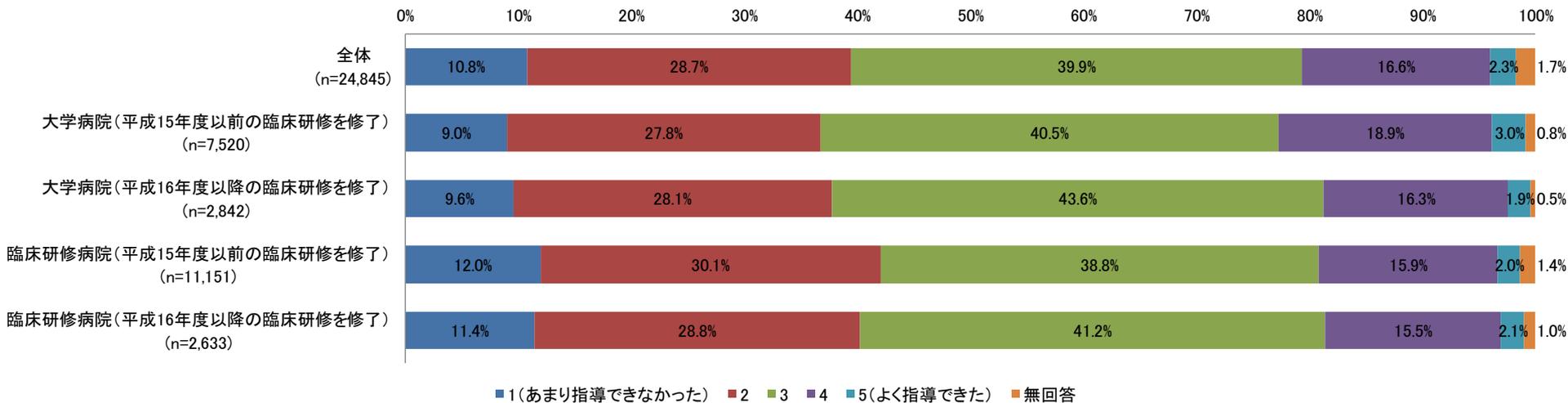


【地域医療における診療能力】

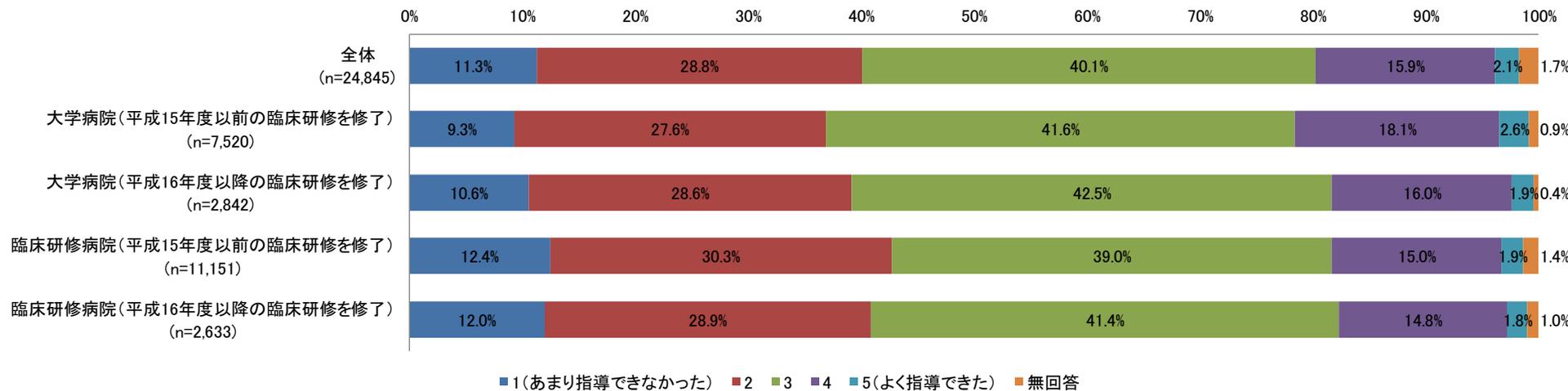


医療の持つ社会的側面を踏まえた指導

【保健医療に関する法規・制度の目的と仕組み】

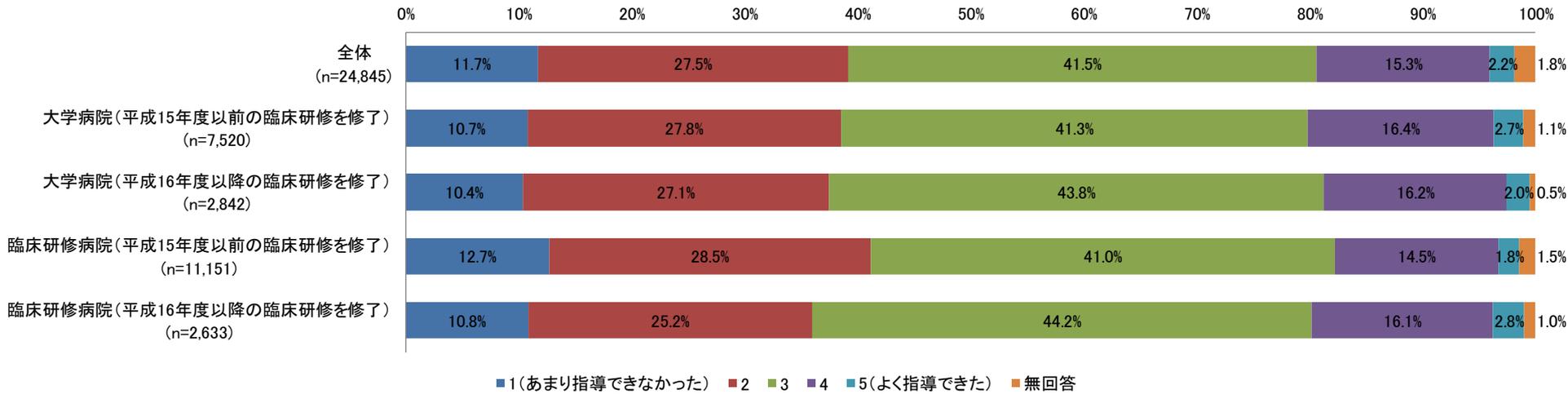


【健康保険、公費負担医療の適切な活用】

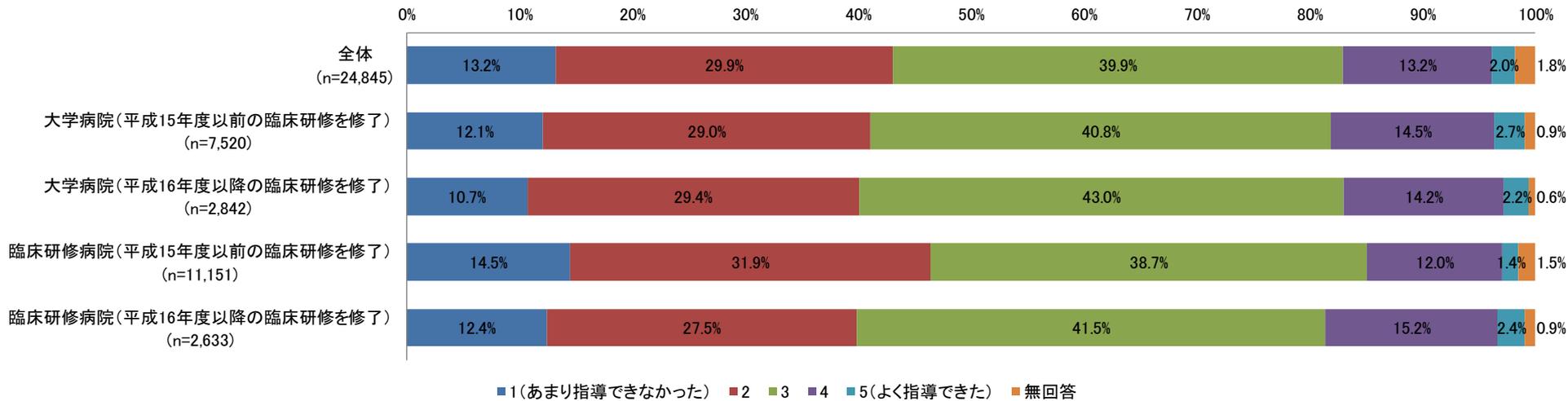


医療の持つ社会的側面を踏まえた指導

【地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を行うこと】

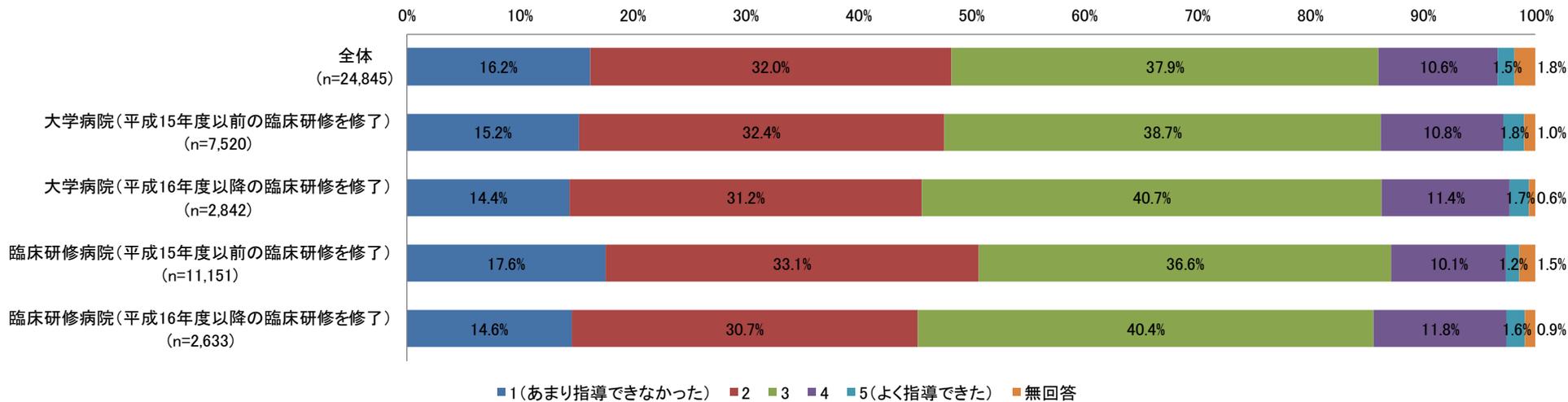


【予防医療・保健・健康増進】

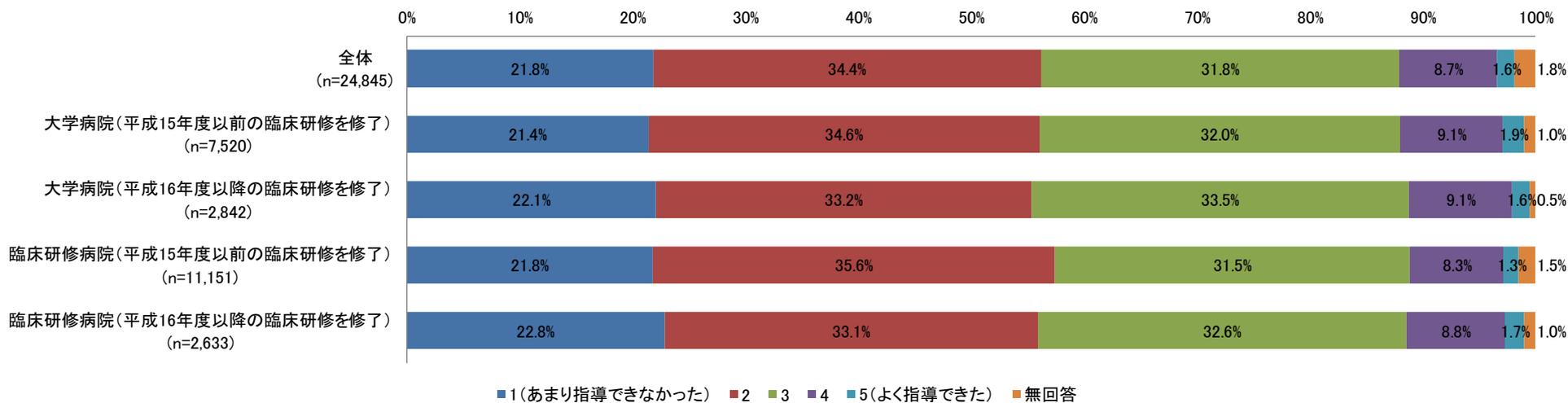


医療の持つ社会的側面を踏まえた指導

【地域包括ケアシステムの推進】

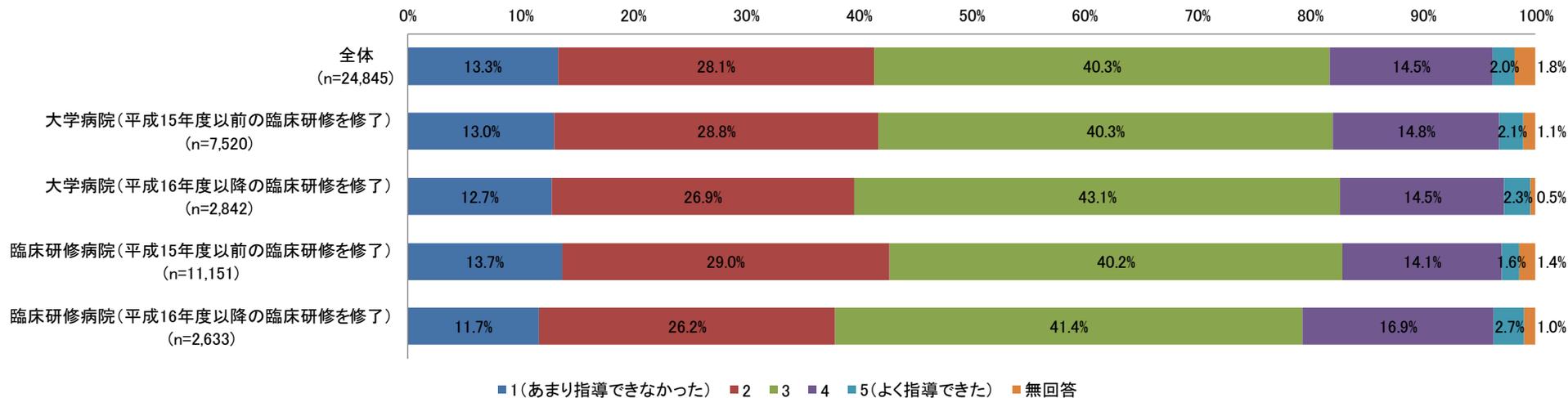


【災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要】

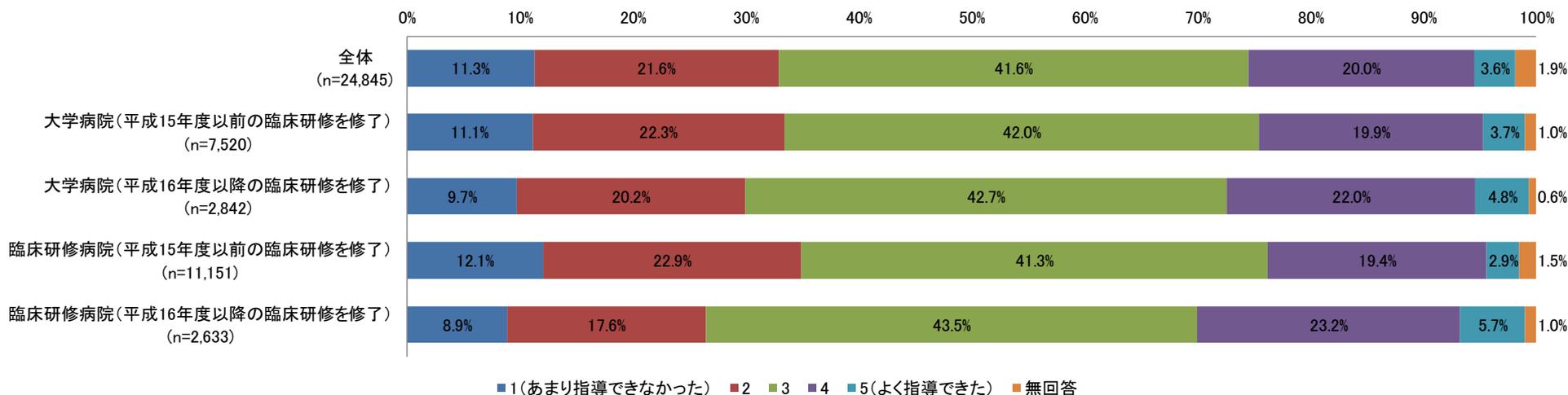


医療の持つ社会的側面を踏まえた指導

【後発品など薬効と価格を考慮し使い分ける】

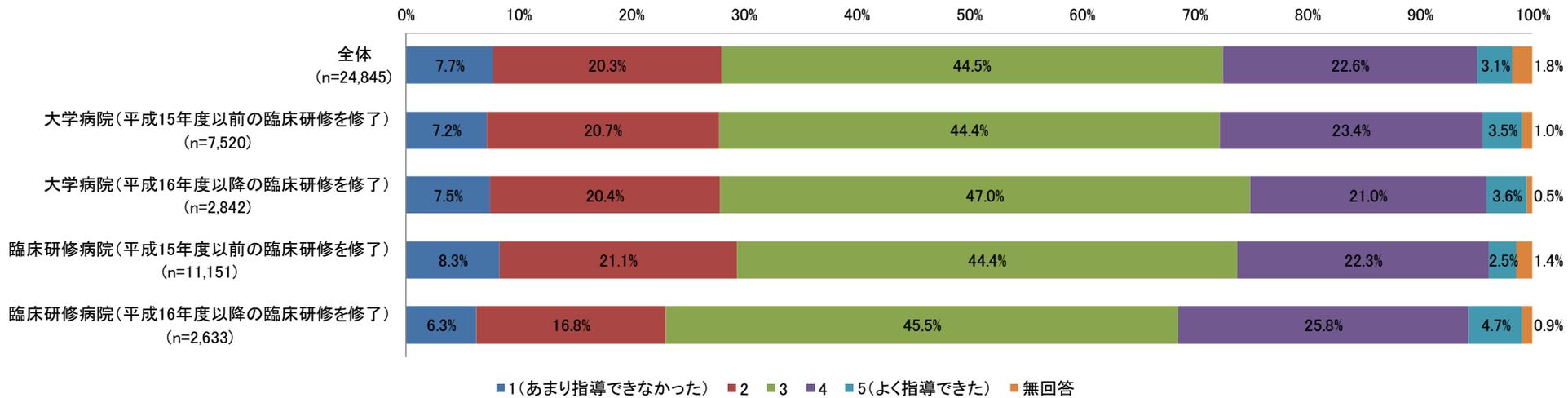


【AMR予防を意識した抗生物質・抗菌薬の適正使用】



医療の持つ社会的側面を踏まえた指導

【費用対効果などを考慮した臨床】



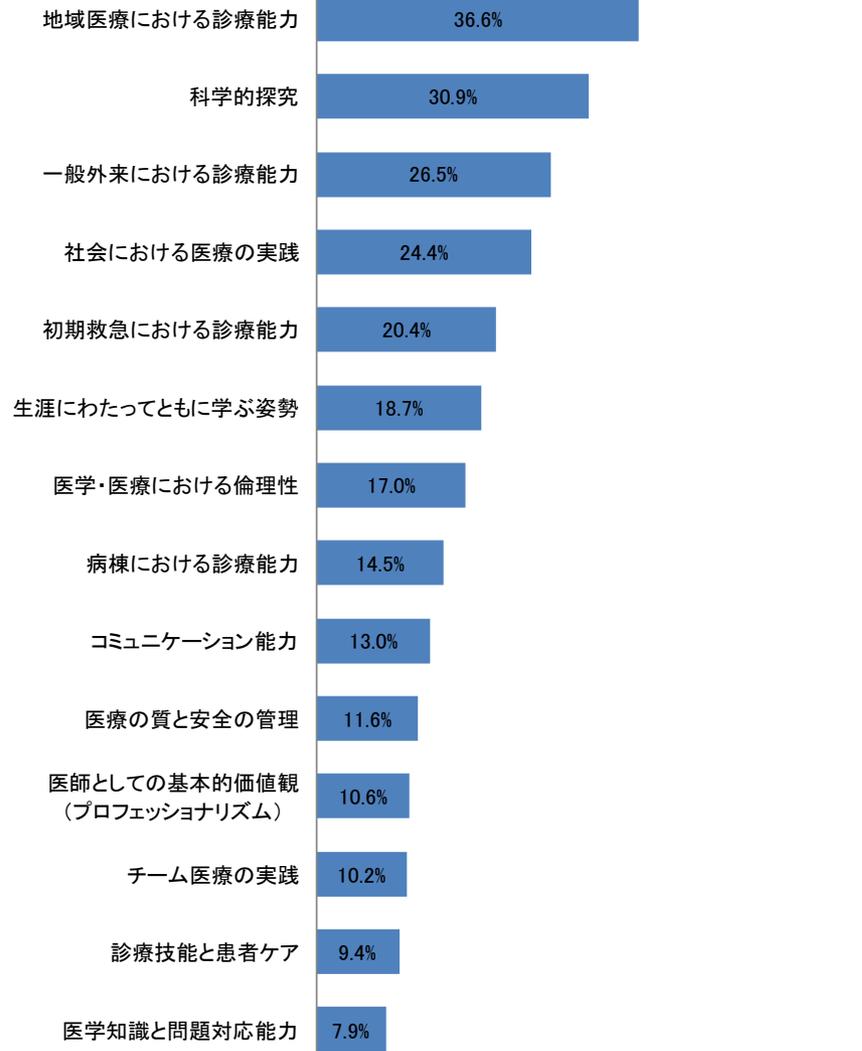
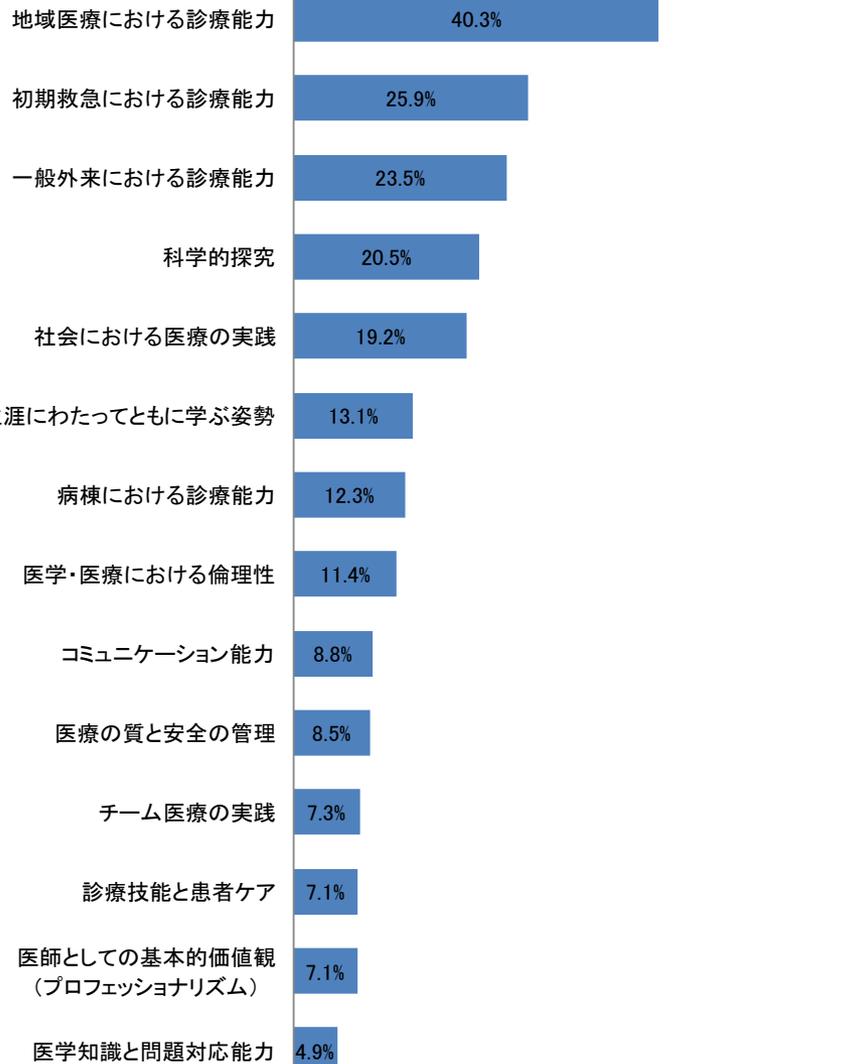
実施した指導 「1（あまり指導できなかった）」または「2」と回答した割合（降順）

【大学病院(n=10,639)】

【臨床研修病院(n=14,206)】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

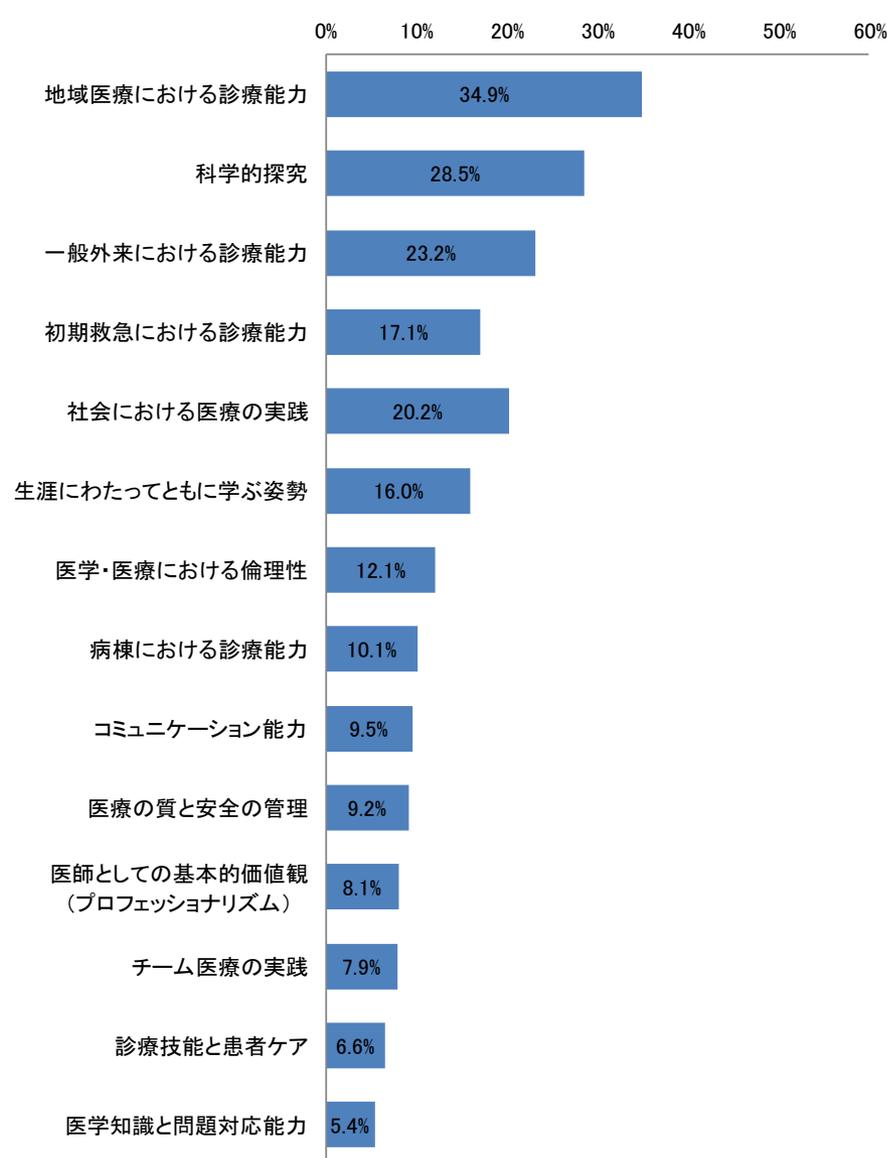
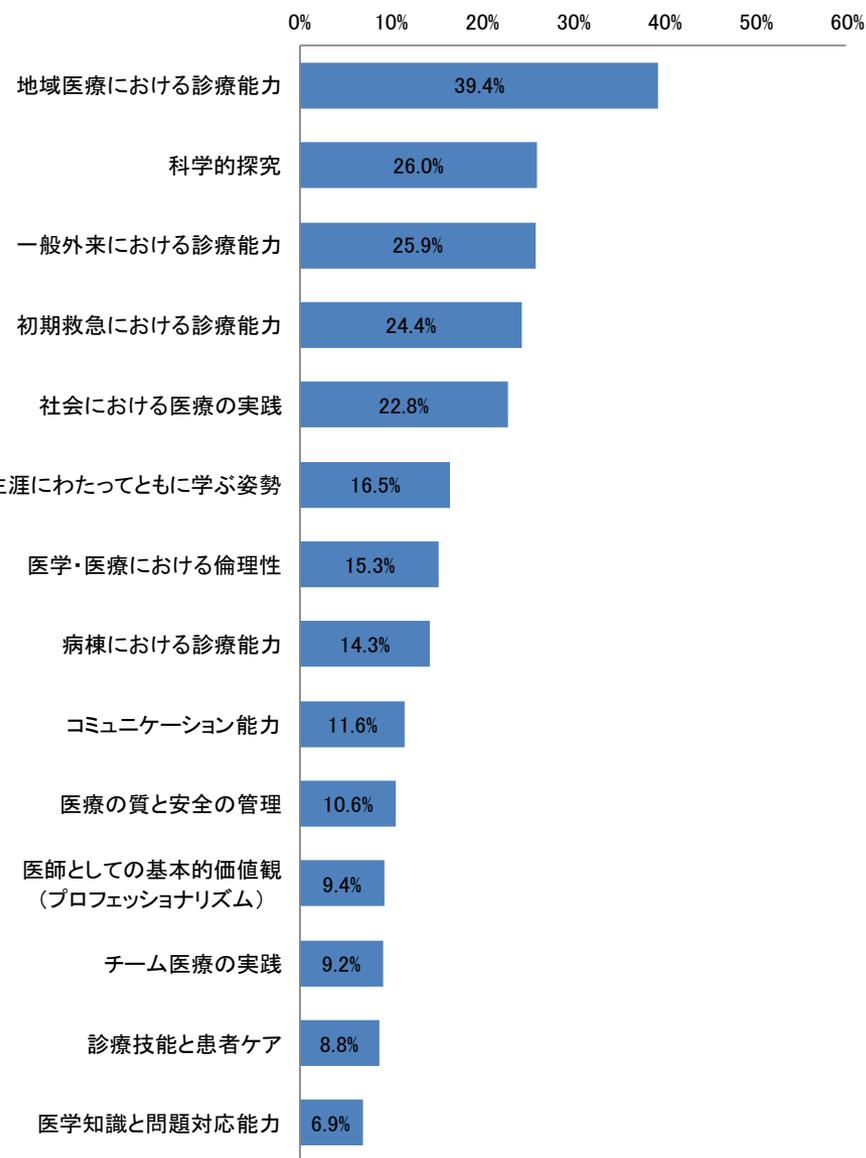
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



実施した指導 「1（あまり指導できなかった）」または「2」と回答した割合（降順）

【平成15年度以前の臨床研修を修了(n=18,671)】

【平成16年度以降の臨床研修を修了(n=5,475)】



医療の持つ社会的側面を踏まえた指導 「1（あまり指導できなかった）」または「2」と回答した割合（降順）

【大学病院(n=10,639)】

【臨床研修病院(n=14,206)】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

災害や感染症パンデミックなどの
非日常的な医療需要

55.3%

災害や感染症パンデミックなどの
非日常的な医療需要

56.8%

地域包括ケアシステムの推進

46.6%

地域包括ケアシステムの推進

49.5%

後発品など薬効と価格を
考慮し使い分ける

40.9%

予防医療・保健・健康増進

45.1%

予防医療・保健・健康増進

40.5%

健康保険、公費負担医療の
適切な活用

42.3%

地域の健康問題やニーズを把握し、
必要な対策を行うこと

37.9%

後発品など薬効と価格を
考慮し使い分ける

41.7%

健康保険、公費負担医療の
適切な活用

37.2%

保健医療に関する法規・制度の
目的と仕組み

41.5%

保健医療に関する法規・制度の
目的と仕組み

36.7%

地域の健康問題やニーズを把握し、
必要な対策を行うこと

40.1%

AMR予防を意識した
抗生物質・抗菌薬の適正使用

32.3%

AMR予防を意識した
抗生物質・抗菌薬の適正使用

33.4%

費用対効果などを考慮した臨床

27.7%

費用対効果などを考慮した臨床

28.3%

医療の持つ社会的側面を踏まえた指導 「1（あまり指導できなかった）」または「2」と回答した割合（降順）

【平成15年度以前の臨床研修を修了(n=18,671)】

【平成16年度以降の臨床研修を修了(n=5,475)】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%

災害や感染症パンデミックなどの
非日常的な医療需要

56.9%

災害や感染症パンデミックなどの
非日常的な医療需要

55.6%

地域包括ケアシステムの推進

49.4%

地域包括ケアシステムの推進

45.5%

予防医療・保健・健康増進

44.3%

健康保険、公費負担医療の
適切な活用

40.0%

後発品など薬効と価格を
考慮し使い分ける

42.3%

予防医療・保健・健康増進

40.0%

健康保険、公費負担医療の
適切な活用

40.4%

保健医療に関する法規・制度の
目的と仕組み

38.9%

地域の健康問題やニーズを把握し、
必要な対策を行うこと

40.1%

後発品など薬効と価格を
考慮し使い分ける

38.8%

保健医療に関する法規・制度の
目的と仕組み

39.9%

地域の健康問題やニーズを把握し、
必要な対策を行うこと

36.7%

AMR予防を意識した
抗生物質・抗菌薬の適正使用

34.3%

AMR予防を意識した
抗生物質・抗菌薬の適正使用

28.3%

費用対効果などを考慮した臨床

28.8%

費用対効果などを考慮した臨床

25.6%

労働基準法に関連して知っている内容（複数回答可）

